

ことばの科学会 2024年3月度研究例会 発表② (研究発表)

2024年3月30日

関西学院大学大阪梅田キャンパスおよびオンライン (Zoom)

文字と音の関係をおおまかに理解するとは？— 4音を3文字で書いてみる—

長井克己 (香川大学)

外国語学習において「音と文字の関係をだまかに理解」するとは、どのような状態なのか？これを調べる予備実験として、V1C1V2C2(V3)構造の無意味語を、アルファベットでもカナでもない8つの記号(△▽◇□○∅^∩)で書き取ってもらった実験を、大学2年生20名を対象に行った。試験語は V1=/a/, C1=[^hp, p, b, ^ht, t, d, ^hk, k, g], V2=/a, u/, C2=[p, p̣, b, t, ṭ, k, ḳ], V3=(/u/), /C1/= /C2/ で、「ア(ハ)クック(ウ)」のような音を聞き、記号3つで書く課題であった。C1の有声無声を区別すると、氣息音を書く文字が足りなくなる。V1を書かない、C2の破裂やV3を無視する等のストラテジーを用いる学習者を「音と文字の関係を理解している」可能性が高いと仮定し抽出した。氣息音や語末の破裂を記述するのは易しく、V1を書かないことやC2の有声無声を無視することは難しかった。課題として難しすぎることや、glottal stop との関係についてのコメントをフロアからいただいた。